

社会保険労務士からの三方一両得だより

令和5年4月20日 第163号

キリンの飼育体験に参加しました

宇都宮動物園で行われた、キリンの飼育体験に参加しました。こちらのイベントは、先日行われたキリンの飼育環境向上のためのクラウドファンディングの返礼企画です。我が家の夫婦と、女性個人参加3名の計5名で行われました。本当に女性は行動力がありますね。

キリン担当の飼育員さんが象も担当されているということで、普段入れない裏にまわって象の宮子にサツマイモを手渡しでやりました。その後、抜けた歯を見せていただきました。象は一生



象が目の前に。

のうちに5回歯が抜け変わるそうなのですが、人間のようには下から新しい歯が生えてくるのではなく、奥から新しい歯が生えてきて、古い歯を前に押し出して生え変わるそうです。不思議な感じです。

次にキリン舎で寝床の藁とフンの片づけです。いよいよ飼育体験かと思いましたが、1人1分弱スコップをふるって終了です。完全にご接待ですね。

昼食後飼育員さんの特別講話です。宇都宮動物園のキリン飼育の歴史を聞かせていただきました。昔はキリンの確保が難しく、アメリカまで買い付けに行ったこともあったそうですが、今では繁殖がうまく行って8頭にまで増えたとのこと。

ちょっと事前の想像と違いましたが、バックヤードツアーのようで貴重な体験をさせていただきました。



キリンも目の前。



足場パイプで道具小屋を作りました。

近所の畑の広さが、今春から3倍になりました。高齢のため引退する方から引き継ぎました。今まではジャガイモとサツマイモなど、手のかからない作物しか植えていませんでしたが、ここまで広くなるなら、がっちり取り組むことにします。日々チューチューブを見て栽培方法を勉強しております。何よりありがたいのは、風呂おけの貯水タンクを置いて行ってくれたことです。本当に感謝です。

我が家の畑

健康診断にプラス！「がん検診」の受診勧奨で従業員を守る！

我が家の両親 4 人のうち 3 人はがんで亡くなっています(1 人は健在です)。当事務所のお客様の従業員さんについても、やはりがんで亡くられる方がいます。従業員さんについて、今まで脳出血や心臓発作で亡くなった事例を経験していませんので、やはり圧倒的にがんで亡くなる方が多い印象です。

◆「がん検診の受診の啓発」を

健康診断を実施する企業も多い春先のこの時期、従業員に「がん検診」をあわせて受診するよう勧める取組みを行ってみてはいかがでしょうか。

会社での健康診断は、がんの発見を目的としたものではありません。会社の健康診断の目的は、業務内容に関連して注意すべき病気の有無をチェックすることと、生活習慣病の予防を行うことです。つまり、会社の健康診断で問題なしとの結果が出たとしても、がんの心配がないわけではないのです。

がんに罹患する方の3人に1人は、20～64歳の現役世代です。医療技術の進歩により、がんの治療をしながら働き続ける方も増えており、企業も積極的に「がん対策」に取り組む

ことが望まれています。その取組みの1つとして行いたいのが、「がん検診の受診の啓発」です。具体的には、健康診断にがん検診を取り入れたり、健康診断とは別にがん検診を受診するようすすめたりするなどして、受診率の向上につなげます。



◆受診啓発が受診率を高め、従業員を守る

受診率を高めるため、がん検診の費用を企業が負担するといったところも出てきています。しかし、特に中小企業では、そこまではなかなかやれないというところも多いかもしれません。

この点、先行事例が集積されるなかで、受診率向上のために有効なのは、実は受診勧奨の取組みである、ということがわかってきました。予算がなく費用の負担までは難しいという企業でも、別の対策で十分受診率を向上させられる可能性があります。

早期発見・早期治療ができれば、がんは決して怖い病気ではありません。従業員の健康を守るため、ぜひがん検診の受診勧奨の取組みを始めていただければと思います。